

日本のカミキリムシ

日本には、約800種、亜種を含めると900種ものカミキリムシが分布している。

彼らの姿を見るにはホストとなる草木を見て回ったり、灯火に集まるものを観察したり、貯木場に産卵に訪れる個体を観察するなどの方法がある。



写真左) タブを齧るホシベニカミキリ (*Eupromus ruber*)

写真中) 灯火に飛来したニセビロウドカミキリ (*Acalolepta sejuncta sejuncta*)

写真右) カシ類の材に佇むルリボシカミキリ (*Rosalia batesi*)

また、晩夏～秋にかけてはコブヤハズカミキリを狙った『コブ叩き』という採集法も行われる。これは、枯葉に潜むカミキリを叩いて落とすというものである。



写真) 枯葉に潜むコブヤハズカミキリ (*Mesechthistatus binodosus binodosus*)

このように、一年中様々な方法で、様々な種類に出会うことができるのがカミキリムシの一番の魅力だろう。